

私立大学情報教育協会
平成25年度
大学職員情報化研究講習会
基礎講習コース報告

D班3 D-3

1

発表テーマ

主体性の高い人材育成
～学生からの情報発信～

2

テーマ選定理由(1) 大学の役割

私たちが考えた大学の役割

人を育てる＝成長させる

役割を果たすために、大学は何をしなければいけないのか

人が育つためには
成長したいと自身に思わせること
つまり、**主体性**が重要

3

テーマ選定理由(2) 大学生の現状

大学生の現状はどうだろうか？

おとなしい、消極的、受け身

どのような取り組みが必要なのだろうか？

学生の主体性を目覚めさせる取り組み

4

テーマ選定理由(3) このテーマを選んだ理由

大学の役割、大学の現状を踏まえて、何が重要と考えたのか？

主体性の高い人材を育成すること



主体性の高い人材育成
～学生からの情報発信～

5

問題点の立ち返り

そもそも
学生の主体性は低いのか？また、学生は主体性を求められて来たのか？

大学に来る前は…

自分たちが学生だった時、主体性はあったのか
新たに挑戦、発信することはハードルが高い

第30条

2 前項の場合においては、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、**主体的に学習に取り組む態度を養う**ことに、特に意を用いなければならない。

(学校教育法第30条の第2項)

6

解決策の検討

・解決策

◎魅力的(興味をもつ、また、利益になる)で、
主体性を目覚めさせる仕掛けが必要

◎最初の一步のハードルが高い
経験させる事で能力と自信をつけ、
モチベーションの向上に繋げる
もう一步踏み出すことへの抵抗感を少なくする



段階的に主体性を養っていく事で解決

7

大学のイノベーションの提案

学生の成長記録簿の公開スペースの設置

定義

大学生活における活動を通して身につけた知識・経験の記録を
まとめたポートフォリオのようなもの

目的

①成長記録の可視化

②発表・報告等、情報発信する機会を設定→フィードバック

	公開内容(具体例)
学内活動	・レポート ・ゼミ動画 等
学外活動	・インターン ・興味ある分野(ボランティア等)の発表 ・講師として地域に発表(MOOC)

提案における課題・導入効果

情報リテラシーの問題

①公開範囲の制限

②情報リテラシー教育の実施

導入効果それぞれのメリット

対象者	具体的なメリット
学生	主体性の向上、成長確認、企業等外部に向けてのアピール材料
大学	学生が成長する事での大学のブランド力の向上
地域・社会	大学資源の活用(知、人)、企業側の新たな選定基準

9

ご清聴ありがとうございました

10